

改善アドバイス(合理化テーマ)

今回の答えは「発想は非常に良い」ので、
構成と効果表現を整えれば一気に上位答案になります。

改善アドバイス①

工事概要を最初に明示する

いきなり合理化内容に入らず、

- 延床面積
- 階数
- 用途
- 鉄骨数量

を最初に書きましょう。

例:

本工事は延床面積〇〇㎡、地上〇階建て鉄骨造事務所ビルの新築工事である。

これだけで答案の格が一段上がります。

改善アドバイス②

「課題」を明確にしてから工夫を書く

合理化テーマでは必ず

課題 → 工夫 → 効果

の流れにします。

今回なら例えば:

課題例

- 梁長さが多種類で在庫管理が煩雑
- スプライスプレートが施工時に干渉し作業効率が低下

この“困っていたこと”を先に書きます。

改善アドバイス③

効果を具体化(できれば数値)

合理化は「楽になった」では弱いです。

例:

- 梁部材種類を 10 種類→4 種類に削減
- 建方時間を 1 日短縮
- 部材探しの時間を削減し作業効率が向上
- 干渉作業がなくなり安全性向上

最低でも「時間」「手間」「種類数」など、何か 1 つは具体化しましょう。

改善アドバイス④

文章量を増やす

今は情報量が少なすぎます。

合理化は

- 設計段階の工夫
- 施工段階の工夫
- 波及効果

まで書けると高得点になります。